

みずほCustomer Desk Report 2023/04/14 号 (As of 2023/04/13)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	133.34 AUD/USD
TKY 9:00AM	133.08	1.0997	146.27	1.2492	0.6697
SYD-NY High	133.39	1.1068	146.88	1.2537	0.6796
SYD-NY Low	132.03	1.0977	146.08	1.2478	0.6687
NY 5:00 PM	132.58	1.1048	146.43	1.2523	0.6784

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,029.69	383.19	日本2年債	▲0.0500%	0.0000%
NASDAQ	12,166.27	236.94	日本10年債	0.4600%	0.0000%
S&P	4,146.22	54.27	米国2年債	3.9662%	0.0001%
日経平均	28,156.97	74.27	米国5年債	3.4995%	0.0353%
TOPIX	2,007.93	1.01	米国10年債	3.4468%	0.0478%
シカゴ日経先物	28,440.00	450.00	独10年債	2.3685%	0.0110%
ロンドンFT	7,843.38	18.54	英10年債	3.5695%	0.0105%
DAX	15,729.46	25.86	豪10年債	3.2880%	0.0230%
ハンセン指数	20,344.48	34.62	USDJPY 1M Vol	10.81%	▲0.64%
上海総合	3,318.36	▲ 8.82	USDJPY 3M Vol	10.61%	▲0.26%
NY金	2,055.30	30.40	USDJPY 6M Vol	10.59%	▲0.10%
WTI	82.16	▲ 1.10	USDJPY 1M 25RR	▲1.49%	Yen Call Over
CRB指数	275.59	▲ 0.14	EURJPY 3M Vol	10.46%	▲0.15%
ドルインデックス	101.01	▲ 0.49	EURJPY 6M Vol	10.60%	▲0.05%

東京	東京時間のドル円は狭いレンジでの推移となった。133.08レベルでオープンすると一時132.98まで下落。その後は、豪3月雇用者数が市場予想を大幅に上回ったことを背景としたAUD円の上昇を中心に、クロス円の底堅さにサポートされ133円台前半で推移。結局133.27レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、133.27レベルでオープン。午後に米3月PPIの発表を控え、東京時間に続いて狭いレンジで方向感なく推移し、結局133.35レベルでNYに渡った。ユーロは前日に続き上値を目指す展開。1.0988レベルでオープンし、年初来最高値の1.1032まで上昇。結局1.1010でレベルNYに渡った。ポンドドルもユーロと連動して年初来新高値を更新。1.2490レベルでオープンし、1.2530まで買われ、結局1.2503レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は133円台前半でスタート。アジア時間ではクロス円の上昇が支えとなり、133.37まで上昇する。その後伸び悩み一時133円台を割り込む場面も見られたが、再びじり高で推移し133.35レベルでNYオープン。朝方に発表された米失業保険継続受給者数は予想を下回ったものの、米3月PPI(前月比)などが予想を下回ったことから、ドル売りが優勢となり、132.03まで急落。その後、低下していた金利が持ち直したことから、次第に上昇し132円台半ばまで値を戻す。午後は米主要株式指数が堅調に推移する中、リスクオンの円売りがサポートとなり、じり高で推移し132.80近辺まで上昇するもその後は伸び悩み、132.58レベルでクロス。一方、海外市場のユーロは1.09台後半スタート。独金利がじりじりと上昇するのを横目に1.1032まで値を上げる。その後小幅反落し1.1010レベルでNYオープン。朝方は先述の米経済指標の結果を受け、ドル売りが優勢となる。続いて複数のECBメンバーが利上げに関するタカ派色の強い内容を示したことから、欧米金利差縮小が意識され、1.1068まで上昇し日中高値を更新する。買い一巡後は1.1050まで小幅反落。午後は1.1050付近を挟んだレンジ推移が続き、1.1048レベルでクロス。

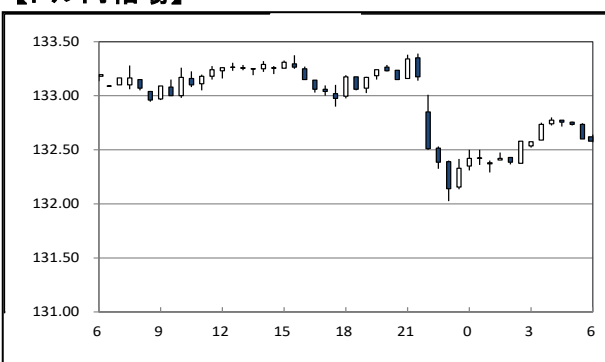
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月13日	10:30	豪雇用者数変化	3月 53.0K	20K
	10:30	豪失業率	3月 3.5%	3.6%
	12:23	中輸出/輸入(前年比)	3月 14.8%/-1.4%	-7.1%/-6.4%
	12:23	中貿易収支	3月 \$88.19B	\$40.0B
	15:00	英鉱工業生産(前月比/前年比)	2月 -0.2%/-3.1%	0.2%/-3.7%
	15:00	英製造業生産(前月比/前年比)	2月 0.0%/-2.4%	0.2%/-4.5%
	21:30	米新規失業保険申請件数	8-Apr 239K	235K
	21:30	米PPI(前月比/前年比)	3月 -0.5%/2.7%	0.0%/3.0%

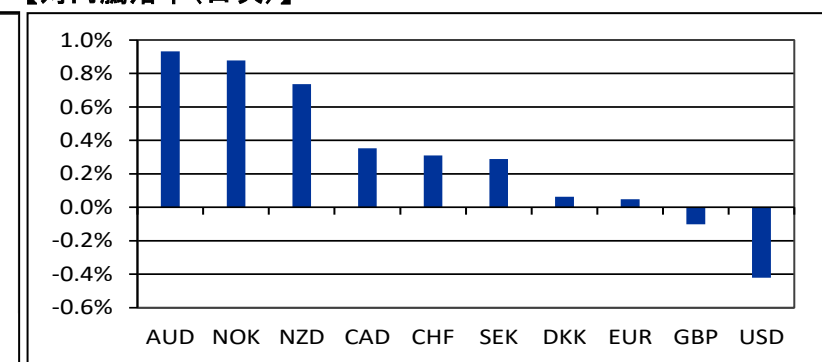
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月14日	21:30	米小売売上高速報(前月比)	3月 -0.4%	-0.4%
	22:15	米鉱工業生産(前月比)	3月 0.2%	0.0%
	23:00	米ミシガン大学消費者マインド・速報	4月 62.1	62.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	131.50-133.50	1.0950-1.1150	145.50-148.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は米CPIを受けたドル売りに133円レベルでオープン。朝方、北朝鮮ネタで133円割れとなる場面があったものの、仲値にかけてドル買い需要強く133.30レベルまで上昇。その後は全体的なドル売りの流れに、上値は限定的となり133円前半でのみ合いが続いた。海外時間に発表された米指標(米3月PPI、イニクレ)が共に予想比弱い結果となると、米金利低下、ドル売りの流れにドル円は一気に132.03まで下落。ただ、米引き締め早期終了を好感し米株は上昇。リスクオン→ドル売り、円売りとクロス円上昇にドル円は下値では底堅く132.80レベルまで戻した。

本日のドル円は引き続き上値重い展開を予想する。米利上げ終了近いとの思惑強まり、ドル売り先行が先行する流れが続いている。ただし、米カーブはスティーピング、リスクオンからのクロス円堅調推移という流れになっており、先月の金融不安のようなリスクオフ材料や日銀政策修正期待が高まってこなければ、ドル円はドル売りに上値重いものの、現状では急落するイメージはない。当面、レンジ(129-134)内推移で上値重い相場が続くそう。ドル円VOLは昨年12月の安値に向けて下落中。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 伊藤・鈴木